

ごあいさつ

平成12年にスタートした介護保険制度は、「高齢者の介護を社会全体で支える」という考えのもと、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく過ごせる社会の実現のために、医療、介護、介護予防、住まいや生活支援が包括的に確保される体制として、これまで「地域包括ケアシステム」の整備を進めてまいりました。

本市は、高齢化率が県内市町村の中で最も低い状況にありますが、令和5年において高齢化率が22.5パーセントとなり、超高齢社会を迎えております。今後、令和7年には団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となるほか、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年頃には、市民のおよそ3人に1人が高齢者となり、地域社会を取り巻く課題は今以上に複雑化・複合化していくことが予想されます。

こうした中、超高齢化社会の進展を見据えた計画として、令和6年度から令和8年度までの3年間にわたる「富谷市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定いたしました。

本計画においては、基本理念である「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生涯を過ごせるまちづくり」の実現を目指し、「高齢者が自身の健康を守ることができるまち」、「高齢者が自分らしく安心して暮らせるまち」の2つの基本目標を掲げ、全力で取り組んでまいります。

そして、この基本理念の実現には、市民、事業者、関係機関の皆様との連携が重要不可欠であり、市民の皆様をはじめ、計画の推進に関わる全ての方々におかれましては、計画の趣旨をご理解いただくとともに、その推進について、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご意見・ご提言をいただきました「富谷市介護保険運営委員会」や「富谷市保健福祉総合支援センター運営協議会」の委員の皆様をはじめ、実態把握調査やパブリック・コメントなど各種調査にご協力いただきました多くの市民の皆様、そして関係機関の方々に心から感謝申し上げます。

令和6年3月

わごう ひろとし
富谷市長 若生裕俊

